

学校法人 金沢医科大学 平成 21 年度決算

学校法人金沢医科大学の平成 21 年度決算が、5 月 31 日（月）開催の第 207 回理事会及び第 109 回評議員会において承認されました。その概要及び収支等の状況は次のとおりです。

1. 概 要

私学を取り巻く厳しい経営環境が続く中、平成 21 年度は、前年度から引き続き医師及び看護師の確保を図り、勤務環境の改善に努めました。また、臨床研修医への奨学金制度の創設、医学部特別奨学金貸与制度の拡充、高度先進研究機器の整備などの事業を実施しました。同時に、グランドデザイン事業（大学施設再整備計画）に備えるための資金確保についても予定額の積立てを行いました。

2. 消費収支計算書の状況

【主な収入】

(1) 学生生徒等納付金

看護学部生の増加等により、前年比 2 億 9 百万円増の 4 8 億 3 百万円となりました。学生数は、医学部生 6 5 9 名、大学院生 6 9 名、看護学部生 1 9 2 名の合計 9 2 0 名です。

(2) 寄付金

寄付金総額は、ほぼ前年同額の 5 億 5 千 9 百万円となりました。

(3) 補助金

補助金総額は、前年比 5 億 8 千 7 百万円減の 1 4 億 4 千 9 百万円となりました。

うち、私立大学等経常費補助金は 2 千 3 百万円増の 1 1 億 3 百万円となりました。補助金総額が減少しているのは、前年度に病院別館改修及び看護師宿舍建設に係る補助金約 5 億円があったためです。

文部科学省研究装置・設備補助金は、超高速全身撮影型 2 管球搭載 CT 装置、ハイスループット組織画像解析システムなど 7 件が採択され、2 億 1 百万円が交付されました。

(4) 医療収入

医療収入総額は、前年比 4 億 8 千万円増の 1 7 5 億円となりました。

入院収入は、病床利用率が 8 4 . 0 % と前年比 2 . 7 ポイント増、診療単価が前年比 1 . 7 % の増加となったことなどにより、前年比 1 億 8 千 9 百万円増の 1 3 0 億 2 千万円となりました。

一方、外来収入は、外来延患者数が 0 . 5 % 増加し、診療単価が前年比 6 . 5 % の増加となったことなどにより、前年比 2 億 9 千 1 百万円増の 4 4 億 8 千万円となりました。

なお、医療収入の帰属収入に占める割合は 7 0 . 0 %（前年度 6 7 . 2 %）となりました。

【主な費用】

(1) 人件費

人件費総額は、前年比 3 億 6 千 2 百万円増となる 1 1 9 億 3 千 3 百万円となりました。うち、教員人件費は、前年比 9 千万円増の 3 6 億 6 千 2 百万円、職員人件費は平成 22 年度問題対応のための看護師確保等により、前年比 2 億 6 千 8 百万円増の 7 5 億円、役員報酬はほぼ前年同額の 9 千万円、退職給与引当金繰入額及び退職金はほぼ前年同額の 6 億 8 千 1 百万円となり、また、退職金支出は、定年及び早期退職制度による退職等を含め、1 0 8 名に 5 億 8 千 7 百万円を支出しました。

なお、人件費の帰属収入に占める割合は 4 7 . 7 %（前年度 4 6 . 1 %）となりました。

(2) 教育研究経費

前年比4千3百万円増の15億9千5百万円となり、引き続き教育研究の充実を図りました。

(3) 医療経費

前年比6千1百万円減の85億1千6百万円となりました。薬品費が2億3百万円増加し、医療材料費が6千5百万円増加しましたが、その他の医療経費が3億2千9百万円減少しました。これは、光熱水費が約1億1千万円の減、委託費が約1億7千万円の減となったためです。

なお、医療経費の医療収入に占める割合は48.7%(前年度50.4%)、また、帰属収入に占める割合は34.0%(同34.2%)となりました。

(4) 減価償却額及び処分差額等

減価償却額及び資産処分差額の合計額は、前年比6千9百万円減の26億4千3百万円となりました。

この結果、帰属収入の部合計250億1千5百万円から、消費支出の部の合計251億7千9百万円を差引いた収支差額は、前年比2億9千4百万円減となる1億6千4百万円の支出超過となりました。

なお、有価証券評価差額については、平成20年9月のリーマンショック以来、世界経済、金融機関等の混乱が鎮静化しつつあり、その影響から、本年度は2億6千万円にとどまりました。

消費収支計算書

(自)平成21年4月1日

(至)平成22年3月31日

(単位:百万円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金	4,803	209	人件費	11,933	362
手数料	139	18	教育研究経費	1,595	43
寄付金	559	5	医療経費	8,516	61
補助金	1,449	587	管理経費	490	67
資産運用収入	219	170	借入金等利息	2	1
事業収入	232	27	減価償却額及び		
医療収入	17,500	480	資産処分差額等	2,643	69
雑収入	114	21			
帰属収入合計	25,015	85	消費支出の部合計	25,179	209
			(収支差額)	(164)	(294)
基本金組入額	1,111	1,285	有価証券評価差額	260	3,091
消費収入の部合計	23,904	1,200	消費収支差額	1,535	4,082

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示(以下同じ)

前年比は平成20年度決算との比較です。

3. 資金収支計算書の状況

【主な資金収入・支出】

消費収支計算書で説明した項目については割愛させていただきます。

(1) 借入金等収入

期中の運転資金として銀行から10億円を借入れしました。

また、教育振興資金（学校債）を募集し、3億5千万円の資金調達を行いました。

(2) 借入金等返済支出

期中に借入れた短期借入金10億円を返済しました。

また、学校債の定期償還及び繰上償還等で、5億6千1百万円の償還を実施しました。

(3) 施設・設備関係支出

施設関係では、特別高圧2回線化受電工事に2億5千8百万円、MR-CT3撮影室改修工事に6千5百万円、病児保育室増築工事に3千8百万円、超高速全身撮影型2管球搭載CT装置導入工事に4千4百万円ほかで、合計5億3千7百万円を支出しました。

設備関係では、超高速全身撮影型2管球搭載CT装置2億5千4百万円（うち、補助金交付額1億4千9百万円）、ハイスループット組織画像解析システム2千7百万円（うち、補助金交付額1千8百万円）、走査電子顕微鏡2千万円（うち、補助金交付額1千3百万円）、インキュベータ蛍光顕微鏡2千万円（うち、補助金交付額1千3百万円）、消化器内視鏡シミュレータ1千5百万円（うち、補助金交付額7百万円）、高頻度磁気刺激装置9百万円（うち、補助金交付額6百万円）ほかで、合計8億3千2百万円を支出しました。

資 金 収 支 計 算 書

（自）平成21年4月1日

（至）平成22年3月31日

（単位：百万円）

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	金 額	前年比	科 目	金 額	前年比
学生生徒等納付金収入	4,803	209	人件費支出	11,839	450
手数料収入	139	18	教育研究経費支出	1,595	43
寄付金収入	553	22	医療経費支出	8,484	103
補助金収入	1,449	587	管理経費支出	490	67
資産運用収入	219	170	借入金等利息支出	2	1
事業収入	232	27	借入金等返済支出	1,561	30
医療収入	17,500	480	施設関係支出	537	2,530
雑収入	114	21	設備関係支出	832	283
借入金等収入	1,350	32	資産運用支出	1,255	222
前受金収入	3,491	207	その他の支出	2,930	214
その他の収入	4,033	645			
資金収入調整勘定	6,910	753	資金支出調整勘定	2,424	25
前年度繰越支払資金	4,256	2,001	次年度繰越支払資金	4,128	128
収入の部合計	31,229	2,126	支出の部合計	31,229	2,126

（注） は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示（以下同じ）

前年比は平成20年度決算との比較です。

(4) 資産運用支出

グランドデザイン事業に対する財源を確保するため施設拡充引当特定資産に 10 億円、臨床研修奨学事業引当特定資産に 5 千万円の合計 10 億 5 千万円を計画どおり積立てました。

また、金沢医科大学氷見市民病院への元入金として 2 億 5 百万円を繰り入れました。

以上の資金収支計算の結果、平成 21 年度の次年度繰越支払資金（手持運転資金）は前年比 1 億 2 千 8 百万円減となる 41 億 2 千 8 百万円となりました。

4. 貸借対照表の状況

【主な増減】

(1) 資産の部

資産総額は、前年比 7 億 8 千万円減の 551 億 5 千 8 百万円となりました。

これは、建物ほかの減価償却、減価償却引当特定資産の評価換え及び未収入金等の減少によるものです。

収益事業元入金については、金沢医科大学氷見市民病院の運転資金として新たに 2 億 5 百万円を繰り入れました。

長期貸付金は、医学部生、看護学部生及び臨床研修医への奨学貸付金で、3 億円となりました。

退職給与引当特定資産は、前年同額の 61 億 3 千 8 百万円で、これは、退職給与引当金期末残高の 80.7%に相当します。

減価償却引当特定資産は、仕組債の評価換えにより 2 億 6 千万円減の 44 億 8 千 9 百万円となりました。

施設拡充引当特定資産は、10 億円をグランドデザイン事業に積立てました。

臨床研修奨学事業引当特定資産を新規に設定し、5 千万円を繰り入れました。

流動資産のうち、現金預金は 1 億 2 千 8 百万円減の 41 億 2 千 8 百万円となりました。

(2) 負債の部

負債総額は、前年比 3 億 5 千 6 百万円減の 178 億 3 百万円となりました。

退職給与引当金は、取崩しと繰入れを行った結果、前年比 9 千 4 百万円増の 76 億 1 千 3 百万円となりました。

(3) 正味財産は、前年比 4 億 2 千 4 百万円減の 373 億 5 千 5 百万円となりました。この結果、資産総額に対する正味財産の割合は 67.7%となり、前年度より 0.2 ポイント増加しました。

なお、情報公開の一環として、平成 21 年度財務関係書類（財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書）を本学のホームページ上に掲載しています。

（<http://www.kanazawa-med.ac.jp> 「事業報告及び決算について」）

貸 借 対 照 表

平成 22 年 3 月 31 日現在

(単位：百万円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	金 額	前年比	科 目	金 額	前年比
固定資産	47,639	115	固定負債	11,218	104
土地	3,206	0	学校債	3,605	198
建物、構築物他	23,799	952	退職給与引当金	7,613	94
教育研究用機器備品他	7,119	306	流動負債	6,585	252
収益事業元入金	638	205	学校債	377	13
長期貸付金	300	148	未払金	2,424	9
退職給与引当特定資産	6,138	0	前受金他	3,784	230
減価償却引当特定資産	4,489	260			
施設拡充引当特定資産	1,000	1,000			
海外交流引当特定資産	500	0	負債の部合計	17,803	356
医学部奨学事業特定資産	400	0	正 味 財 産 の 部		
臨床研修奨学事業特定資産	50	50	科 目	金 額	前年比
流動資産	7,519	665	基本金	64,602	1,107
現金預金	4,128	128	消費収支差額	27,247	1,531
未収入金	3,202	526			
貯蔵品他	189	11	正味財産の部合計	37,355	424
資産の部合計	55,158	780	負債の部及び正 味財産の部合計	55,158	780

(注) 減価償却額の累計額は 31,618 百万円、徴収不能引当金の合計額は 21 百万円です。

退職給与引当金の額は、期末要支給額 7,613 百万円の 100%を計上しています。

5. 金沢医科大学氷見市民病院の状況

(1) 損益計算書

医業収益39億2千1百万円に対し医業費用が43億8百万円で、差引医業収益は3億8千7百万円の支出超過となり、医業外収益3億3千6百万円を含めた当期経常利益は5千1百万円の支出超過となりました。

医業収益のうち、入院収益は22億4千1百万円、外来収益は16億5千8百万円、治験等の受託事業収益は1千5百万円、テナント家賃や駐車場賃貸料等の施設設備利用収益は7百万円となりました。

医業費用のうち、医薬品費や医療材料費等の材料費で12億8千4百万円、給与費で22億4千6百万円、検査、給食及び清掃などの委託費で4億2千4百万円、減価償却費、修繕費、損害保険料等の設備関係費で7千8百万円、消耗品費、光熱水費、旅費交通費等の経費で1億9千6百万円、氷見市への指定管理者負担金で8千万円となりました。

医業外収益は、寄付金収益で1千5百万円、氷見市からの交付金2億8千8百万円を含めた補助金収益は3億1千4百万円となりました。

(2) 貸借対照表

資産総額は10億8千4百万円、負債総額は5億4千9百万円、純資産は5億3千5百万円となりました。

流動資産は、10億4千3百万円となりました。うち、現金預金は病院会計窓口釣銭用の小口現金で9百万円、未収入金は、医療未収入金6億4千4百万円、氷見市からの交付金等の補助金未収入金3億1千万円ほかで9億5千5百万円となりました。

流動負債のうち未払金は、医薬品等材料費の未払いが1億9千万円、氷見市への指定管理者負担金が8千万円、退職金や3月の超過勤務手当などの未払人件費4千3百万円ほかで3億2千5百万円となりました。

預り金は、給与からの住民税や所得税、共済掛金などの徴収分ほかで、4千2百万円となりました。賞与引当金は、平成22年6月に支払う予定の期末手当について、平成21年の12月から平成22年3月までの4ヶ月分を積算し、1億2千1百万円を計上しました。

(経理管財部 大野木辰也記)

金沢医科大学氷見市民病院 損益計算書

(自)平成21年4月1日

(至)平成22年3月31日

(損益計算書) (単位:百万円)

科 目	決算額	科 目	決算額
医業収益	3,921	医業費用	4,308
入院収益	2,241	材料費	1,284
外来収益	1,658	給与費	2,246
受託事業収益	15	委託費	424
施設設備利用収益	7	設備関係費	78
		経費	196
		指定管理者負担金	80
		医 業 利 益	387
医業外収益	336	医業外費用	0
寄付金収益	15		
補助金収益	314		
雑益	7	経 常 利 益	51

金沢医科大学氷見市民病院 貸借対照表

平成22年3月31日現在

(貸借対照表) (単位:百万円)

科 目	決算額	科 目	決算額
流動資産	1,043	流動負債	488
現金及び預金	9	未払金	325
未収入金	955	預り金	42
徴収不能引当金	4	賞与引当金	121
貯蔵品	77	その他	0
その他	6	固定負債	61
固定資産	41	退職給付引当金	61
工具器具備品	41	負債の部合計	549
		純資産	535
		元入金	638
		利益剰余金	103
		純資産の部合計	535
資産の部合計	1,084	負債・純資産合計	1,084